

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

## 入札案件概要書 (物品)

契約番号 : 7810

件名	化学消防ポンプ自動車 II 型購入	
履行場所	海老名市大谷 8 1 6 番地	
期間	本契約締結日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日	
契約の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○海老名市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第 3 条に該当しますので、仮契約の締結 (令和 7 年 5 月 20 日予定) になります。議会の議決を得た後、本契約として成立します。	
予定価格	85,756,220 円 (税込)	77,960,200 円 (税抜)
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (同等品や仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	690 自動車	
	発注区分 区分の詳細は入札公告 で確認してください。	第 4 区分	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	なし	
事前提出書類 (システム添付)	なし		
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)	開札後、落札候補者は次の書類を FAX で提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。) ○内訳書 (本概要書添付の内訳書を使用してください。)		
仮契約締結時まで提出する書類	契約保証金の手続きに関する申出書 (本概要書添付の申出書を使用してください。) なお、契約保証金の手続きにつきましては、市ホームページ「令和 7 年度 第 2 回入札公告 (4 月 4 日公告)」にあります「入札説明書 契約保証金の取扱い」を確認してください。		

# 化学消防ポンプ自動車Ⅱ型購入 仕様書

令和7年度

海老名市消防本部

## 《目次》

### 第1章 総則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

- 1 製作台数及び納期等
- 2 条件
- 3 提出書類
- 4 変更承認
- 5 適合法令
- 6 検査
- 7 製作上の問題処理等
- 8 納入等
- 9 完成図書
- 10 保証
- 11 技術指導
- 12 その他

### 第2章 シャシの仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

- 1 概要
- 2 シャシの諸元
- 3 装備品
- 4 キャブの仕様
- 5 車体の構造

### 第3章 ポンプ等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

- 1 ポンプ

- 2 吸水口
- 3 放水口
- 4 中継口
- 5 冷却装置
- 6 その他

#### 第4章 艀装・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

- 1 車両の艀装及び構造
- 2 水槽
- 3 泡消火装置
- 4 泡消火薬液槽
- 5 放水銃
- 6 電装

#### 第5章 塗装等及び記入文字・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

- 1 塗装
- 2 記入文字等

#### 第6章 消防デジタル無線機及びAVM・・・・・・・・・・・・ 28

- 1 消防デジタル無線機及びAVM装置
- 2 配線施工
- 3 固定金具
- 4 外部無線送話機
- 5 障害防止
- 6 保護及び防水措置

7 その他

**第7章 装備品一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30**

1 備えなければならないもの

2 軽微な変更として備えることができるもの

3 補助対象外

## 第 1 章 総則

本仕様書は、海老名市消防本部（以下「発注者」という。）が、令和 7 年度に購入する化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（以下「車両」という。）の規格、艤装等の仕様及びその他必要な事項を定めたものである。

### 1 製作台数及び納期等

- (1) 製作台数 1 台
- (2) 納入期限 令和 8 年 3 月 31 日まで
- (3) 納入場所 海老名市大谷 816 番地

### 2 条件

- (1) 車両本体、艤装等の材料はすべて最新の製品を使用し、消防ポンプ自動車として、十分な精度と強度を有し、登録された車両総重量の状態において、消防活動に十分耐え得るものでなければならない。
- (2) 製作に使用する全ての材料は、日本産業規格に準じたものでなければならない。
- (3) 受注者は、この車両の製作にあたって、工業所有権に関する法令に抵触し、又は問題等が生じた場合には、受注者がこれの解決にあたらなければならない。
- (4) この仕様書を十分に熟知した上で契約すること。
- (5) 本契約は防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用するため、交付決定後の契約締結となることに留意すること。

### 3 提出書類

受注者は契約後、次の書類を **2 部** 提出すること。

番号	名称
(1)	製作工程表

(2)	諸元明細表
(3)	製作承認図（艀装図面、前後・左右・上図面）
(4)	電気系統配線図
(5)	積載品配置図（3図面）
(6)	動力伝達装置図
(7)	配管系統図
(8)	価格明細表
(9)	転覆角度実測証明書
(10)	その他発注者が指定する書類

#### 4 変更承認

- (1) 技術上の変更を要する場合にあっては、随時発注者と協議し、承認を受けた場合のみ仕様の変更をすることができる。また、仕様の変更が生じた場合には、変更図面等を早急に提出すること。
- (2) 本仕様書において指定した装備品及び積載品が更新又は改良のため整備できない場合においては、発注者と協議し、承認を受けた上で、同等以上の更新又は改良後の資器材を装備及び積載すること。

#### 5 適合法令

車両の製作は、本仕様書及び承認図書によるほか、次に掲げる法令等に適合し、緊急自動車として承認を得られるものとする。

番号	内容
(1)	防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金交付要綱 (令和5年3月31日防衛省訓令第22号)
(2)	動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令 (昭和61年自治省令第24号)

(3)	道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
(4)	道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）
(5)	日本消防検定の定める消防車両の安全基準
(6)	その他の関係法令

## 6 検査

検査種別	内容
中間検査	受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施し、本仕様書、製作工程表及び製作承認図に基づき各種艤装を施し、原則、装備品の取り付け及び塗装をする前に受注者工場にて発注者立会いによる中間検査を行うものとする。なお、中間検査に伴い使用する測定機材等については、受注者が準備を行うこと。
完成検査（検収）	受注者は納入時に発注者立会いのもとで、車両及び艤装の完成検査を受けること。

### ※検査に基づく改修

中間検査及び完成検査により指摘事項がある場合は不適合車とし、受注者の負担において再製作又は再艤装若しくは取替をすること。

## 7 製作上の問題処理等

- (1) 車両の保管責任は、発注者の完成検査を受けるまでの間、受注者が負うものとする。
- (2) 「本仕様書に疑義が生じた場合」又は「仕様の変更が必要な場合」は、発注者とその都度、協議すること。

(3) 本仕様書の解釈について相違がある場合は、全て発注者の解釈に従うものとする。

## 8 納入等

(1) 納入に先立ち、日本消防ポンプ協会が行う鑑定の手続き、車両新規登録検査及び緊急自動車の届出を行ったうえで発注者に納入すること。

(2) 納入時の車両及び各種資器材の燃料は満タンにし、オイルは指定の量を注入しておくこと。

## 9 完成図書

受注者は、完成車両納入時に次の図書を提出すること。

番号	名称	部数等
(1)	車両完成図 5 面図	2
(2)	消防ポンプ自動車試験成績表	2
(3)	電気配線図	2
(4)	ポンプ等の取扱説明書	2
(5)	各種積載品取扱説明書	2
(6)	整備要領書等	一式
(7)	車両取り扱い説明書	一式
(8)	ポンプ性能試験成績表	一式
(9)	受託試験合格プレートの写し	一式
(10)	工程写真（記録体） ア 製作中各工程（シャシ、組み立て中及び塗装後） イ 試験工程（重量実測試験及び放水試験）	一式
(11)	車検証	2
(12)	その他発注者が指定する図書	一式

## 10 保証

- (1) 完成車両の保証は納入の日から12か月間、その他はメーカー保証期間とし、保証期間内に故障が発生した場合は、受注者の責任において修理あるいは交換を行うこと。ただし、発注者の故意及び過失によるものはこの限りではない。
- (2) 製作上の欠陥による故障、又は工作不良及び材料不良に起因する不都合が発生した場合には、上記に関わらず対応すること。
- (3) 保証にかかる車両の不備によって、長期間に渡り使用が制限された時は、その期間は保証期間には含まないものとする。

## 11 技術指導

- (1) 受注者は、本車両運用前に職員に対する技術指導を3回以上行うこと。
- (2) 技術指導時に必要な書類等については、受注者が用意すること。
- (3) 実施日、講義内容等の詳細については、後日発注者を交えて協議すること。
- (4) 本車両の使用期間中にわたり、発注者が受注者に対し職員への技術指導を依頼した場合には応じること。
- (5) 本車両の取扱いに関する説明及び技術指導の費用については、受注者負担とすること。

## 12 その他

- (1) 車両は前記のほか、別表に掲げる資器材等を積載するものとし、別に積載及び取り付け等が必要な場合は、資器材一式として扱うこと。
- (2) 指定以外の取り付け品及び付属品の取り付けについては、発注者の指示に従うこと。

- (3) 契約締結から納入までの諸経費は受注者が負担するものとする。ただし、車両新規登録料、車両重量税、自動車損害賠償責任保険料及びリサイクル費用について発注者が負担するものとする。
- (4) 受注者は本車両納入後、発注者が指定する旧車両及び不要な資器材を無償で引き取り、適正に処理すること。
- (5) 車両は国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局の自動車登録事務所が行う新規検査合格後に納入すること。

## 第2章 シャシの仕様

### 1 概要

車両に使用するシャシは、発注年度に新規製作した消防専用シャシとし、各種規制に適合したもので、消防ポンプ装置、水槽、泡消火薬液槽、泡混合装置、そのほか消防活動上必要な資器材を装備し、迅速かつ確実な消防活動を行うことができる化学消防ポンプ自動車の艤装に最も適したものとす。

### 2 シャシの諸元

番号	項目	内容
(1)	キャブ形式	ダブルキャブ
(2)	エンジン	ディーゼルエンジン
(3)	全長	7,300mm以下（艤装含む）（厳守）
(4)	全幅	2,350mm以下（50mm後方リアオーバーフェンダー分は含まない）（厳守）
(5)	全高	3,100mm以下（厳守）
(6)	総重量	11,000kg以上
(7)	総排気量	5,100cc以上
(8)	トランスミッション	オートマチックトランスミッション
(9)	最高出力	240PS以上
(10)	ホイールベース	3,790mm
(11)	オルタネーター出力	24V－100A以上
(12)	バッテリー	12V－115F51以上 2個
(13)	駆動方式	2輪駆動
(14)	乗車定員	6名（前2名・後4名）

(15)	燃料タンク	100リットル以上
(16)	キャブチルト装置	電動油圧式パワーチルト

### 3 装備品

番号	項目	内容
(1)	ヘッドライト	L E D
(2)	フォグランプ・デイライト	純正品
(3)	エアコン	純正品
(4)	ドアミラー	電動格納式
(5)	制御装置・安全装置	A B S 装置 エアバック（運転席）
(6)	バッテリー充電装置	マグネット式フルオート キャブタイヤケーブル10m
(7)	サイドバイザー	各ドア上部（ステンレス）
(8)	泥除けゴム	前輪・最後輪
(9)	工具	一式
(10)	全方位カメラ	一式（液晶モニター含む）
(11)	ドライブレコーダー	一式
(12)	フロントグリル（純正品）	一式
(13)	ルーフコンソール	一式
(14)	地図等収納ボックス	一式
(15)	室内灯	一式
(16)	フレキシブルマップランプ	一式 L E D
(17)	ステップランプ	一式 L E D
(18)	前後フロアマット	一式
(19)	スタッドレスタイヤ	一式 ※ホイール付き

(20)	スペアタイヤ	一式（前後異形サイズの場合は前後それぞれ一式とすること。）
(21)	オイルパンヒーター	全充電器コンセント兼用（ヒーターのみ作動スイッチ付き）
(22)	E T C	一式
(23)	インバーター	A C / D C

※その他、消防用シャシとしてメーカーが公表した標準品が装備されていること。また、アイドリング機能は付けないものとする。

#### 4 キャブの仕様

##### (1) 外装

ア キャブは、飛鳥車体ミドルーフ及びキャブ張り出し方式とし、赤色警光灯を取り付けること。なお、標識灯は可能な限り大きくすること。

イ 乗車ステップは、全て滑り止め加工を施し、各蹴りこみ部分にはアルミ縞板等を取り付け、LEDステップランプを設けること。

ウ ミラー、ミラーステー及びフロントグリルは、黒色塗装とすること。

エ 各ドアにステンレス製バイザーを取り付けること。

オ 各ドア後部のキャブ外ピラーに乗降用手すり棒（ステンレス製）を滑り止め付で取り付けること。

カ 運転席側、後部ドアのステップ付近に収納庫等を設け、車輪止めを収納できるようにすること。

キ フロントグリル部は、可能な限り黒色塗装を施すこと。

ク 旗立てパイプをキャブ左側上部の適当な位置に取り付けること。

ケ フロントバンパーの一部に黒色塗装を施すこと。

- コ 牽引用フックを車両後部に設け、ワイヤー及びシャックルがバンパーに干渉しないように加工すること。なお、許容荷重を明記すること。
- サ バウシャックルを車両前部に設け、ワイヤー及びシャックルがバンパーに干渉しないように加工すること。なお、許容荷重を明記すること。
- シ 助手席から後方を視認できる補助ミラーを設けること。
- ス フロントグリル中央部付近に直径100mm以上の台座付消防章を設けること。なお、消防章下には日野マークを残すこと。
- セ アンテナ台は、アンテナ上部先端が全高以下となる位置に設けること。
- ソ リアタイヤのフロアステップバンパーは、両側25mmのオーバーフェンダーとしサイドミラー越しに後輪タイヤの位置が分かること。

## (2) 内装

- ア 座席は、前向きとし、前2名・後4名掛け、全席シートベルトを取り付け、後部隊員席用握り棒中間パイプバス型にS字フック複数個を設けること。
- イ 後部席上部にLED室内灯(大)を取り付けること。
- ウ 助手席上部にLEDフレキシブルマップランプを取り付けること。
- エ 後部席下部は、積載品が収納できる構造とし、背もたれカットシート前倒れ式、シートクッションダンパー跳ね上げ及びシートライザー左右扉を設けること。
- オ キャブ内天井部は、内張を施し、電装品等の点検が容易に出来る構造とすること。
- カ 各装置のスイッチパネルは、内容表示付のものとする事。
- キ 運転席と助手席の中央にボックスを設け、電子サイレンアンプ、無線機、10連スイッチ及び各スイッチ類等を埋め込み、空気呼吸器固定

装置（クイックホルダー）を1基設け、クイックホルダー両側にハンガーラック二又タイプを1つずつ設置し、クイックホルダーの裏面はパンチングメタルにし、中央上部にハンガーラック二又タイプを設けるまた、中央ボックスの助手席側の一部（指定した箇所）にパンチングメタルを設ける。

ク 上記中央ボックス付近に車両動態表示システム（以下「AVM」という。）架台を設置し、配線を施すこと。

ケ 100V 2ロコンセント（シャッター付き・1,000W対応）、2ロ以上のUSB式電源取り出し口を使用が容易な位置に設置すること。

コ 冷暖房装置は、室内容積に対し十分な能力を有すること。なお、後部座席には送風機を設置すること。位置は別途協議すること。

サ 全シートは、防水防汚性能のあるシートカバーを装着すること。色は別途協議すること。

シ 後部座席後方キャブ張り出し部分には、空気呼吸器固定装置（クイックホルダー）を4基及び面体掛けフック5個（ハンガーラック二又タイプ）をクイックホルダーの両側に設け、背面にパンチングメタルを設置すること。キャブ張り出し部分両端に取り付けるフックは、キャブ張り出し部分に沿ってステー等を延長した先に設けること。延長の仕様については別途指示する。また、クイックホルダー下部に資器材が収納できること。（収納する資器材については別途指示）

ス 後部のクイックホルダー4基の内、中央2基は、取り外し可能にし、ボックスを取り付け、酸素バックが固定できること。（ボックスの大きさや仕様については別途指示）

セ 後部は、運転席及び助手席後ろ中間パイプ下にパンチングメタルを設け、中央前列側のコンソールボックスとの間には地図入れボックスA3パンチングを設けること。

ソ 運転席側面には、収納ボックス及びセンターシート、足元にはボックスを設けること。

タ デジタル電流計／電圧計及びGPS時計を設けること。

チ 運転席は、LEDメインスイッチ及びPTO作動確認灯を設け、LEDメインスイッチとPTO作動スイッチはハンドルを介した位置に設けること。

ツ モーターサイレン操作部をハンドル左側付近、集中ボックス助手席側及び後方キャブ中央部3か所に誤操作が起きない位置に設けること。

テ 中央地図入れボックス横に汎用マイクを増設すること。詳細な位置については、別途協議すること。

ト 車両前列、中列及び後列上部に収納棚を設けること。なお、底板は、パンチングメタル仕様とし、資器材をかけられる構造とすること。なお、収納棚から資器材が落下しないよう防止措置をすること。収納資器材については別途協議すること。

## 5 車体の構造

完成車両の完成寸法及び総重量は次のとおりとする。

- (1) 車体の構造及び区画は、堅牢かつ十分な耐久性及び資器材収納スペースを有する構造で、特に指示する部品を除き金属製とし、製作承認図のとおりにするほか本仕様書によるものとする。
- (2) 車両側板は、アルミ鋼板又はこれと同等以上の強度を有するものとし、車両総重量の軽減を最大限に図る。
- (3) 各ステップは、アルミ縞鋼板（滑り止め付き）とする。また、ポンプ室天井、水槽上面及び水槽後部の器具収納箱天井は、アルミ縞鋼板製とする。

- (4) 車体上面は、十分強度があり、雨水等が滞留及び車体内部に浸水しない構造とすると。
- (5) 車体の重要な点検箇所及び主要部分には、点検整備に必要なスペースを確保すると共に、必要な箇所には点検口又は点検扉を設け、全てロック付の扉とすること。
- (6) ポンプ室側板は可能な限り開放式とし、点検、手入れが容易に行える構造とすること。また、地面からの跳ね返り水がポンプ室内に侵入しないようポンプ下部にアンダーカバー等を設けること。
- (7) 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称及び操作方法等を明記すること。
- (8) 組立ては、製作部品を除き、可能な限りボルト締めで行い、保守点検が容易に実施できるよう配慮すること。なお、外装の金具類（ボルト、ナット、ネジ等）はステンレス製を使用すること。
- (9) その他、水が溜まりそうな箇所には、必要数の水抜き穴を設けると。

## 第3章 ポンプ等

### 1 ポンプ

#### (1) 主ポンプ

ア 主ポンプは、多段バランスタービンとすること。

イ 主ポンプの性能は、日本消防検定協会A-2級以上とすること。

ウ 規格放水性能及び高圧放水性能は、次のとおりとすること。

0.85MPaにおいて2,000リットル/min以上

1.40MPaにおいて1,400リットル/min以上

エ 主ポンプグランド部は、メンテナンスが容易な構造とすること。

オ 主ポンプは、シャシエンジンのフルパワーPTOにより駆動され、運転席及び左右ポンプ室に設けられたスイッチで、容易に動力の「接」及び「断」ができるものとすること。

#### (2) 真空ポンプ

ア 性能は、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令に適合していること。

イ 左右側板に設けた表示ランプ押ボタン式スイッチで操作でき、揚水完了後は、自動的に停止すること。

ウ 動力の「接」及び「断」は、電磁クラッチによるものとすること。

エ オイルを使用しない無給油式の構造とすること。

オ 真空ポンプ作動時用のエンジン回転制御装置を取り付けること。

カ 非常用の別系統押ボタンスイッチを両側に設けること。

キ 両側の操作部付近に無給油式真空ポンプの表示をすること。

#### (3) ポンプ操作装置等

ア 圧力計及び連成計（リタード式）は、振動等でも針振れがない耐震型構造とすること。

イ ポンプスロットルは、電子式スロットル又は電気式スロットルとし、左右どちらでもエンジン回転速度を調節できるものとする。

ウ ポンプスロットルの誤作動を防止するための安全ロック機能付自動調圧装置を設けること。

エ 多目的表示液晶ディスプレイは、操作盤の中央とし、詳細は次のとおりとする。

- (ア) 機器取扱、点検整備、故障対策等を文章で表示できること。
- (イ) 冷却水及び真空ポンプ作動タイムに対する警告表示ができ、ブザーが鳴るようにすること。
- (ウ) 各ボールコックの開閉状況、揚水及び放水の状況が確認できること。
- (エ) ポンプ回転、ポンプ圧力、ポンプ連成計、流量（各放水口）及び水槽内残量を各々デジタル数値により表示ができること。
- (オ) ディスプレイ内の各表示切替えは、パネルスイッチ式又はタッチパネル式により行えるものとする。

オ 左右ポンプ集中操作盤付近に計器灯（LED式）を取付けること。

## 2 吸水口

(1) 消防呼称75mmボールコック（ストレーナ付）とスーパースイングエルボを、ポンプ室に1個設けること。

(2) 75mm×10mの軽量ソフト吸管を常時接続する構造とすること。

(3) 各吸水口にバイパスバルブを設けること。

(4) 排水ドレンは、吸水用配管、ボールコック等の排水が完全に行える構造とし、排水パイプは車体下部まで延長すること。

### 3 放水口

(1) 消防呼称65mmボールコック付放水口をポンプ室両側（片側2口）に設けること。

(2) 点検整備が容易にできる構造とすること。

(3) 放水口に65mm及び50mm兼用の町野式アルミ媒介金具を取り付けること。

(4) 放水口付近の視認しやすい位置に放口番号を表示すること。（例：①、②など）

(5) レバーは、いずれも前方向で「開」とすること。

### 4 中継口

消防呼称65mmボールコック（ストレーナー付）をポンプ室両側設置し先端部に町野式メス媒介を取り付ける。

### 5 冷却装置

(1) 冷却装置は水冷式とし、構造及び内容については、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）に適合するものであること。

(2) 冷却水配管については、一系統にまとめ、1個のバルブで操作が行えること。予備回路を設けること。

(3) 冷却水は、外部へ放出できる構造とすること。このコックは使用しやすい位置に表示付きで設置すること。

### 6 その他

(1) 各ドレンコックは、可能な限りまとめること。

- (2) 職員の操作を必要としないバルブ及びコック等にはその旨を明記すること。(常時開等)
- (3) 各操作レバー、バルブ、コック等の付近にはネームプレートを取り付けること。

## 第4章 艀装

### 1 車両の艀装及び構造

- (1) 車体のシャッターは、左右3枚とし、ポンプ室以外のシャッター内部の有効な奥行きは490mm以上とする。後部にはホースカーを収納し、ホースカー収納部は、露出した状態でその上部はダンパー式跳ね上がり扉を設けた箱型ボディとすること。
- (2) 艀装材料は、補助対象規格に定める数値又はこれと同等以上の強度及び耐久性を有する素材を使用し、可能な限り軽量化を図り、前後重量バランスも考慮すること。
- (3) 車体側板は軽量素材を使用し、側板の高さは、キャブの高さと同程度に設定すること。
- (4) 全てのシャッターは、ロック式のハンドルとすること。
- (5) 車体前部左右は、ポンプ室、その他は資器材収納スペースとすること。
- (6) 各シャッターボックス内、フロアステップバンパー上部、その他必要とする部分は、アルミ縞板材とすること。
- (7) 各シャッターボックス内は、可動式の棚板や収納箱、手すり及び固定バンド等を設け、ホースや資器材の収納が容易にできた上で確実に固定できる構造とすること。
- (8) シャッターの下部には可能な限り収納庫を設け、ステップ兼用扉（ダンパー及びスプリング等の補助装置付き）を設け走行中に開放しないようロックを施すこと。なお、リアフェンダー部のステップ兼用扉については、可能な限り上部に設置すること。

- (9) 後部内に油圧昇降装置を設け、ホースカー（ヤマハクロスクイッカー）を固定できるようにすること（ホースカーに取り付ける資器材は別途指示）。
- (10) 車両後部はデパーチャーアングルを設け、艀装部を含め車両後部のオーバーハングは概ね2 m以内に収めること。
- (11) 車体天井は、アルミ縞鋼板とすること。ただし、水槽及び薬液槽の構造上、アルミ縞鋼板にできない場合は、活動上支障がないよう安全な構造とし、別途協議をすること。
- (12) 車体天井には、荷崩れ防止バー及びアルミ縞板ボックスを取り付けること。
- (13) はしご積載昇降装置は、手動の後方降ろし方式とし、引き出しが容易にできる高さに引き手を設定する。積載の三連はしごは、関東梯子KHF L-C T87で滑車部がはしごの枠から出ない仕様とする。
- (14) 後部ボックス内に予備ボンベ積載装置（4本分）及び消火器10型積載装置（2本分）を設けること。
- (15) キャブと車体の間に昇降用のステンレス製はしご又はステップ等を設け、車外無線機ボックスを両側に設けること。
- (16) 車両後面には、上部への昇降用としてアルミ製折り畳みはしごを設け、必要に応じて手すりを取り付けること。
- (17) 燃料タンクは、100リットル以上とし、補給口は補給しやすい位置にタンク容量表示付きで設定すること。
- (18) キャブ後部は、空気呼吸器固定装置（クイックホルダー）を4基取り付けること。
- (19) 自衛噴霧装置は、左右別系統とし、噴霧ノズルを車体の左右各3か所に設け、このノズルとは別で角度50度から60度の広角に噴霧するノ

ズルを車体左右高さ1,200mmの位置に各1か所設け、手動で開閉できるバルブを設けること。

- (20) 車両運転席側（右側）ポンプ室には、スピンドルドライバー、吸管レンチ、新型消火栓鍵及び吸管に消火栓媒介を取り付けた状態で収納できること。ただし、ポンプ室の構造上、取付が難しい場合には別途協議すること。
- (21) 車両助手席側（左側）ポンプ室には、手鍵、吸管レンチ、新型消火栓鍵及び吸管に消火栓媒介、藤かご及びストレーナーを取り付けた状態で収納できること。
- (22) 車両中央部の左右シャッターボックス内は、移動可能な収納棚3段を設け、左側下段及び右側中段には65mmホース及び50mmホース合計8本以上収納可能な構造とし、右側下段の棚はロック付きスライドレールにステンレス製ボックスを載せ、内部はゴム製ラバー張りとし、引き出す際に指を挟まない構造とする（詳細については別途指示）。
- (23) 車両後部左シャッターボックス内の前方にはF E R N O社製バックボード及びプライバシーシート（幅250mm、高さ1830mm、奥行き407mm）が収納でき、後方には移動可能な収納棚3段を設け、収納棚上段はパンチングメタルを取り付け、中段には、ホースバック（幅750mm、高さ300mm、奥行き230mm）が2個、下段には、消火器10型1本を固定し収納できる構造とすること。
- (24) 車両後部右シャッターボックス内は、展開パネルとし、指定する資器材が固定及び収納でき、展開パネル下部には発電機（ヤマハE F 900is）を固定及び収納できる構造とする（他の資器材については別途指示）。
- (25) ボックス及びシャッター内は、必要に応じて資器材落下防止ベルト及び資器材が転落しない構造とすること。

- (26) 車両上部右側には、手動で伸縮するLED照明灯を設けること。
- (27) 車両上部には、ボックスを設け、全高3,100mmまで可能な限りの「大きさ」と「数量」とし、耐熱服一式入りの収納バック3式及び、資器材が収納でき、後部に設けた、はしごから続く強度がある手すりを設けること（他の資器材については別途指示）。
- (28) ミドルルーフ天板には上部に積載できるよう架台を設け、強度を持たせたフックを6か所取り付ける。
- (29) 車両後部の指定する箇所に可倒式の足掛け部（ステップ）及び手すりを設け、ホースカー室上部ボックスの資器材を容易に降ろせる構造とすること。また、ホースカー昇降装置下部及びホースカー室内側面に足掛け部を設置すること。なお、位置については別途協議すること。
- (30) 後部ボックス内の上部には、天板裏に手すりを設置し、その位置を「手前」及び「奥」の2か所とする。また、後部ボックスは上部天板にも可能な範囲の扉を設け内部の資器材を一部取り出せる構造とし、防水防湿処理をすること。
- (31) ポンプ室左右前面に回転式フックを取り付けること。なお、位置は別途協議すること。

## 2 水槽

- (1) 水槽は、水容量1,500リットル以上とし、ポンプによる自己補給が可能な構造とするほか、配管には緩衝装置を施し、水圧や振動などで変形及び水漏れのない十分な強度を有した上で軽量化に努めること。なお、厚さにあっては側板4.0mm以上、底部6.0mm以上、上部4.5mm以上とする。
- (2) 水槽には、オーバーフローパイプ、補水口（積水口）及び水量計（浮子式）を設けること。

- (3) オーバーフローパイプの構造は、走行時の漏水が最小限になるようにすること。
- (4) 補水口及び水量計（浮子）は両側にそれぞれ1個とすること。
- (5) 水量計はポンプ室付近で、ポンプ操作時に視認しやすい位置に取り付けること。
- (6) 水槽両側には、ボールロック・逆止弁付き補水口（積水口）を設け、鎖付キャップを取り付けること。
- (7) 水槽下部には、排水ドレンバルブを、操作のしやすい位置に取り付けること。また、排水口及び排水ドレンバルブは車高に影響しないこと。
- (8) 車両上部には、点検及び清掃用の開閉可能なマンホールを取り付けること。
- (9) 水槽内は、清掃が容易な構造とすること。
- (10) タンク送水及び給水レバーは、両側ポンプ室に取り付けること。

### 3 泡消火装置

- (1) 泡消火薬液混合比例装置の性能は最大混合能力が毎分1,200リットル以上とすること。
- (2) 適正混合流量範囲は最大混合能力から毎分500リットルまでとすること。
- (3) 泡消火装置は、流量及び圧力の変化に自動で操作できるようにすること。
- (4) 泡消火装置用の流量計及び制御操作盤は単独で備え、デジタルで表示するものとすること。
- (5) 泡消火薬液の種類に応じ、適正な混合比を常に確保することができる構造であり、かつ、簡便に操作できるものであり、自動又は手動で操作できる構造とすること。

- (6) 流量検出部は、車体の両側に設けること。
- (7) 操作スイッチは、原則として車体両側に設けること。
- (8) 左右の放水口から同じ濃度の混合水を放水可能とすること。
- (9) その他、泡消火装置に必要な艤装は、運用に必要な操作及びメンテナンスが容易になるように設定すること。

#### 4 泡消火薬液槽

- (1) 泡消火薬液槽容量は、500リットル以上で、分離槽を設け2区分とし、板厚3mm以上のステンレス鋼板(J I S S U S 316)又はこれと同等以上の強度及び耐食性を有するもので作られた密閉型で、必要に応じて間仕切りを設けるものとし、泡消火薬液が流動する部分のうち直管はステンレス(J I S S U S 304)又はこれと同等以上の強度及び耐食性を有するものとし、その他の配管等は腐食し難い材料で作られ、腐食に耐えうるように被覆をすること。
- (2) 泡消火薬液槽は、内部の清掃が容易な構造とすること。
- (3) 泡消火薬液槽には、泡消火薬液注入口、通気管、泡消火薬液の取出し口及び液量計を設け、底部に排液口を設けることまた、廃液口及び廃液バルブは車高に影響しないこと。
- (4) 泡消火薬液槽は、振動、衝撃等により損傷、緩み等を生じないように車台に固定して設けられ、水圧に対して変形及び液漏れのない構造とし、薬液槽内部には必要に応じ有効な防波板を設けてあること。

#### 5 放水銃

- (1) 車両上部に起伏旋回可能な伸縮式(450mm)の放水銃(Y O N E クロスファイヤー)を設け、65mmねじ式1,300型水管鎗及び400型発泡ノズルを車両上部に他の資器材と干渉しないように固定できること。

- (2) 放水銃までの配管は65mmとし、65mmボールコックを介して配管すること。
- (3) 車両固定状態からの左右側の放水において放水銃の放水角度がマイナス側可動範囲（放水銃取り付け位置を±0と考える）に放水することが可能となるように取り付け位置の選定及び加工等を施すこと。
- (4) 放水銃は、車両上部固定式として車両全周の放水を網羅することができること。
- (5) 放水銃は走行中の動揺等を受けないように収納状態を維持する構造とすること。また、収納状態における高さは車両全高を十分考慮した上で取り付けること。
- (6) 放水銃配管の開閉状況をポンプ室液晶画面に表示すること。

## 6 電装

- (1) エンジン点検用にLED式の照明灯を設けること。
- (2) エンジン始動用メインキーにより、電装品の電源が一括切断できる構造とすること。
- (3) 左右ポンプ室操作部には、LED式照明灯を必要数設けること。
- (4) 各収納室内には、LED式照明灯を必要数設けること。
- (5) フロントグリル内にLED式の赤色点滅灯を左右に各1個ずつ取り付けること。
- (6) フロントバンパー付近にLED式の赤色点滅灯を左右に1個ずつ取り付けること。
- (7) 後輪前後にLED式の路肩灯を左右各1個ずつ取り付けること。
- (8) 車体側面後方左右にLED式の車幅等を左右各1個ずつ取り付けること。

- (9) 車両の両側面上部パネルに、LED式の赤色点滅灯を左右各2個、作業灯をそれぞれ左右各1個ずつ取り付けること。
- (10) 車両後面上部に、LED式の赤色点滅灯・作業灯を左右に各1個ずつ取り付けること。
- (11) 車両天井部キャブ後方付近にLED式のサーチライトを取り付けること。メインスイッチは、キャブ内に設定し、個別スイッチは使用しやすい位置に設けること。
- (12) インバーター(1,000W以上)を取り付け、車内外及びシャッター内にて100V電源が使用できるようにすること。バッテリー管理装置による充電中は、100V電源を利用できるようにすること。
- (13) フルオートのリモコン管理装置を取付け、防水防滴型のマグネットソケットを車体後部に設置すること。
- (14) サイレンアンプには、後日指定するメッセージを備えること。
- (15) 左右両側面上部及び下部後方に車幅灯(黄色)を取り付けること。

## 第5章 塗装等及び記入文字

### 1 塗装

- (1) 車体は、十分に錆落としの上、耐久性に富む朱色塗料を使用すること。
- (2) 車体下回りは、防錆黒色塗装とすること。
- (3) 収納庫内は、必要に応じてアルミ縞板（地色可）を張り付けること。
- (4) ポンプ室内は、必要に応じてアルミ縞板（地色可）を張り付けること。
- (5) キャブ前面フロントグリル、後部座席キャブ側面のステップ、車体側面ステップ兼収納扉、車体天板及び上部BOXには、滑らないような措置を行い、ラプターライナーで黒く塗装すること。
- (6) シャッターは、車体同色とすること。

### 2 記入文字等

番号	表示箇所	内容	
(1)	両側面	キャブ	ア 左右後方ドア部分に「海老名市消防署」と標記すること。 イ 左右後方ドア部分に海老名市消防隊イラストを貼付する。 ウ 左右前方ドア部分下部に「海化1」と標記すること。 エ 後方にかけて二重ライン（上細・下太）入れ、下のラインには赤抜きで「EBINA CITY

			<p>F I R E D E P A R T M E N T」と標記し、上のライン上部に「C H E M I C A L」と標記する。なおラインの幅については発注者と協議すること。</p> <p>オ 車両両側面部に、再帰性反射材を貼付すること。</p>
		標識灯	<p>黒色白文字で「化学1」と標記すること。</p>
(2)	正面	キャブ	<p>正面右側に「C1」と標記すること。</p>
(3)	後部 中央上部	<p>ア 海老名市消防隊イラストを貼付すること。</p> <p>イ 「E B I N A C I T Y F I R E D E P T」「C H E M I C A L」と標記すること。</p>	
(4)	後部 左側	<p>「令和7年度厚木飛行場周辺消防施設設置助成事業」のステッカーを貼付する。</p>	
(5)	上部	<p>対空標示として「海老名化学1」と標記すること。</p>	
(6)	ホースカ 一下部	<p>ホースカー収納時、正面から「海老名市消防署」と見えるように標記すること</p>	
(7)	車体上部	<p>対空標示として「神奈川」を標記すること。</p>	

## 第6章 消防デジタル無線機及びAVM

### 1 消防デジタル無線機及びAVM装置

消防デジタル無線機（以下「無線機」という。）及びAVM装置一式は、納車後に発注者が設置するため、本体及び付属装置の設置予定箇所に留意し、運用に支障がないように配慮すること。ただし、取付けに必要な各種配線は、受注者において設置すること。

### 2 配線施工

納車後に発注者が設置する無線機及びAVM装置一式とは無線機本体、ハンドセット、スピーカー、AVM装置本体、遠隔操作装置及びAVM操作部モニターとするため、すべての配線を施工しておくこと。

### 3 固定金具

発注者が支給するAVM装置本体の固定金具を取付けておくこと。

### 4 外部無線送話機

車両側面2箇所に、外部無線送話機取出口（以下「無線ボックス」という。）を設置し、内部の構造は次のとおりとすること。

- (1) 左右の無線ボックスに、無線機の設置予定箇所から配線を施し、無線機用ハンドセット、車内外切替えスイッチ付スピーカー各1個を取付け可能な構造とすること。また、電子サイレンアンプから配線を施し、連動する広報用マイクを取り付けること。
- (2) 左右の無線ボックスには、上記(1)のほか、AVM装置本体設置予定箇所から配線を施し、AVM遠隔操作装置を取付け可能な構造とすること。ただし、構造により無線ボックス内にすべての機器を取付けられない場合には、発注者と協議した位置に取付けるものとする。
- (3) 無線ボックスの上部に、アルミ縞板を貼付し、簡易ステップとして兼用できるよう強固に取付けること。ただし、無線ボックスをシ

シャッター内に設置した場合はこの限りでない。

- (4) 無線ボックスの扉は、ワンタッチ式の平面ハンドルにより容易に開閉できること。ただし、無線ボックスをシャッター内に設置した場合はこの限りでない。

## 5 障害防止

無線障害防止のため、要所にアースボンディングを行うこと。

## 6 保護及び防水措置

各機器の配線は、容量と長さに十分な余裕を有するとともに、フレキシブル管等により露出しない構造とし、貫通部、接続部等の保護及び防水措置を完全に施すこと。

## 7 その他

なお、詳細については、当市で別途契約する無線機メーカーと十分協議を行うこと。

## 第7章 装備品一覧

### 1 備えなければならないもの

#### (1) 取付品等

No.	項目	数量	備考
1	ポンプ圧力計	2	電子式左右各1
2	ポンプ圧力計	2	非常用 アナログ式バックライト付 100mm
3	ポンプ連成計	2	電子式左右各1
4	ポンプ連成計	2	非常用 アナログ式バックライト付 100mm
5	エンジン回転計	1	シャシ固有
6	エンジン油温計	1	シャシ固有
7	赤色警光灯	一式	W H E L E N 4500Plus クリアレンズは別途協議
8	電子サイレン	一式	
9	照明灯	一式	W H E L E N PCH14 - P
10	後退警報器	1	音声付き
11	標識灯	2	黒色白文字

#### (2) 付属品

No.	項目	数量	備考
1	吸管	2	75mm×10m ソフト
2	吸口ストレーナー	2	75mm用
3	吸管ストレーナー	2	ストカゴセットR-3

4	吸管塵よけ籠	2	ストカゴセットR-3
5	吸管ロープ	2	ストカゴセットR-3
6	吸管枕木	2	合成ゴム製
7	消火栓金具	2	呼称75メスネジ×町野式65mmメス
8	消火栓開閉金具	一式	<p>新型消火栓鍵：2本</p> <p>日之出39型パールN (L=650)</p> <p>スピンドルドライバー：1本</p> <p>手かぎ：1組</p>
9	吸管スパナ	2	鋳鉄製
10	管鎗50mm	2	PP-50A・EXS・S
11	管鎗65mm	2	PP-60A・EXS・S
12	管鎗ノズル	2	<p>ダブコンブーストノズル管鎗取付</p> <p>モデル NV-65W・BT</p>
13	管鎗ノズル	2	ヴァリアブルノズル NV-65-BX
14	ノズル	1	ボアテックノズル NV-50VX (呼び50)
15	ノズル	1	ダブコンブーストノズル NV-50W・BTP (呼び50)
16	ノズル	1	セレクト式ガンタイプ管そう差込式 (TS-4028)
17	放口媒介金具	2	ANS-65MC 50・65マルチスイベル
18	放口媒介金具	2	AN-65MC 50・65マルチ

19	400型発泡ノズル	2	低反動泡ノズル FNL-65・40 0/呼び65
20	とび口	2	グラスファイバー柄 JAFCO 1.8m
21	金てこ	1	0.8m
22	剣先スコップ	1	ステンレス柄
23	車輪止め	4	合成ゴム製
24	消火器	3	自動車用消火器10型
25	ポンプ工具	一式	冷却ストレーナー開閉金具
26	ホース65mm	10	65mm×20m 1.6MPa 指定文字
27	照明器具	一式	ヤマハEO54セット（投光器（クロスバスター）、コントロールボックス、三脚、ケーブル30m袋付き）
28	発電機	1	EF900iS-R-YAMAHAインバーター発電機

## 2 軽微な変更として備えることができるもの

### (1) 取付品等

No.	項目	数量	備考
1	GPSナビゲーションシステム	1	
2	電動サイレン	1	
3	真空計	2	連成計に含む (リタード式)
4	ポンプ回転計	2	

5	流量計	2	
6	積算流量計	2	
7	キャブチルト装置	1	電動油圧式 シャシ固有
8	オイルパンヒーターコード	1	10mケーブル付き
9	スタッドレスタイヤ	6	ホイール付き
10	作業灯	2	W H E L E N S44MB
11	車外無線送話機取出口	2	左右各 1
12	放水銃	一式	Y O N E クロスファイ イヤー450mm伸縮パイ プ式 (マックスフォ ースノズル、モニタ ー本体、固定フラン ジ付)
13	反射材×1式	一式	再帰性に富んだ反射 材
14	自衛噴霧装置	一式	両側各 4 か所 (内 1 か所仕様変更)
15	赤色点滅灯	2	W H E L E N WIONS MBR
16	赤色点滅灯	4	W H E L E N M9FCR
17	点滅灯・作業灯	2	W H E L E N M9V2C R
18	ハイルーフ	1	飛鳥車体 M Z - G

19	キャブバック	1	飛鳥車体
----	--------	---	------

(2) 付属品

No.	項目	数量	備考
1	タイヤチェーン	一式	
2	分岐管	2	WB-65MC 50・65マルチ
3	ホースブリッジ	2	CB-450W (2枚1組)
4	ワイヤー	1	牽引用
5	斧	一式	Right Rescue レガシータイプハリガン&アックス&マリードストラップセット
6	ホースカバー	一式	
7	スタンドパイプ	1	PS-65

3 補助対象外

(1) 取付品等

No.	項目	数量	備考
1	バックアイカメラ	1	ルームミラー型
2	消防無線電話装置	一式	
3	車両運用端末装置	一式	指定車両より移設
4	インバーター	一式	DC-AC (600W AC100Vコンセント2口)
5	集中操作スイッチ	1	10連スイッチ
6	路肩灯	1	左右フェンダー内
7	車幅灯	4	左右車体後方上部・下部 黄色

8	消防章	一式	100mm以上
9	ホース延長用資器材動力昇降装置	1	車両後部 電動油圧式
10	サイドバイザー	一式	ステンレス製
11	手動梯子積載装置	一式	
12	空気呼吸器取付装置	4	クイックホルダー
13	E T C 車載装置	一式	セットアップ含む
14	地図入れボックス	一式	A 3 パンチング H R F W S - R I N - 410171
15	シャッター庫内灯	一式	シャッターレール埋込及び必要箇所 L E D
16	L E D ステップランプ	一式	H R F W S - R E L - 310120
17	アルミ縞板張り	1	H R F W S - R E X - 310110
18	バウシャックル	2	H R F W S - R E X - 310210
19	中間パイプ	一式	H R F W S - R I N - 21031 0、H X F W S - R I N - 710 2 X X
20	L E D 室内灯	一式	H R F W S - R E L - 11031 X
21	L E D フレキシブルマ ップランプ	一式	H R F W S - R E L - 11053 X
22	後部座席	一式	背もたれカットシート前倒れ 式 (H R F W S - R I N - 14 0300)、シートクッションダ

			ンパー跳ね上げ (H R F W S - R I N - 140925)、シート ライザー左右扉 (H R F W S - R I N - 140910)
23	ハンガーラック二又タ イプ	8	H X F W S - R I N - 6102 X X
24	収納ボックス	1	H R F W S - R I N - 410200
25	足元ボックス	1	H R F W S - R I N - 410199
26	デジタル電流計／電圧 計	一式	H R F W S - R E L - 410140
27	G P S 時計	一式	H R F W S - R E L - 510155
28	L E D メインスイッチ	一式	H X F W S - R E L - 210110
29	P T O 作動確認灯	一式	H R F W S - R E L - 210113
30	S 字フック	必要数	
31	汎用マイク		大阪サイレン

(2) 付属品

No.	項目	数量	備考
1	中継用媒介金具	2	
2	放水銃用管鎗	1	載せ替え品
3	変換媒介	1	載せ替え品
4	三連はしご	1	K H F L - C T 87
5	タイダウンベルト	4	載せ替え品
6	ブースターケーブル	1	
7	車両ジャッキ	一式	

8	ホイールレンチ	1	
9	耐熱服	三式	倉本産業K A - 2000 耐熱靴 27 c m : 2 足、28 c m : 1 足
10	ひしゃく大	1	載せ替え
11	フロートバック	1	載せ替え
12	プラスチック蓑	1	載せ替え
13	ロープバック	2	B E - 030
14	補水ホース	2	65mm×5 m 載せ替え
15	水幕ホース	一式	ホース：2本、媒介：2個、 水幕用固定金具：4個 載せ 替え
16	水圧シャッター替口（1 7mm）	1	載せ替え品
17	替口（21mm）	1	載せ替え品
18	テープスリング120	2	アノー C40A120 オレンジ
19	テープスリング60	1	アノー C40A60 赤
20	ハンマー	1	T S - 6 0 4 7
21	ボルトクリッパー	1	載せ替え品
22	塵取り	1	載せ替え
23	竹ぼうき	1	載せ替え
24	背負い式散水装置	1	載せ替え
25	手ぼうき	1	載せ替え
26	ホース延長資器材（ホ ースカー）	1	ヤマハクロスクイッカー

27	ホースバンド	6	
28	燃料携行缶	1	1 リットル 載せ替え
29	サルベージシート	2	載せ替え
30	防水シート	4	載せ替え
31	検知キット	一式	北川式測定セット P-50 載せ替え
32	工具セット	一式	載せ替え
33	メジャー	1	載せ替え
34	原調画板	一式	載せ替え
35	連送ホース	2	載せ替え
36	バックボード	一式	F E R N O 社製バックボード (ヘッドイモビライザー、ベルト3本付) 載せ替え
37	プライバシーシート	2	クイックシールド・N E O
38	フルハーネス	2	トップクロールL C081CA00 ファルコンC0838DA デルタリングP11 リングオープンP28
39	ホースバック	2	ホースバック II W50-65
40	ひしゃく中	1	
41	ひしゃく小	1	
42	停止表示板	1	
43	外傷バック	1	載せ替え
44	布担架	1	載せ替え

45	酸素バック	1	載せ替え
46	携帯警報器	5	
47	橙旗	1	載せ替え
48	スターライト信号灯	2	
49	ライフジャケット	5	高階 B S R - 905 B
50	ブラスターライト	3	B R - A G 10 M
51	430簡易縛帯	1	
52	双眼鏡	1	載せ替え
53	ガス測定器	一式	新コスモス電機 マルチ型ガス検査器 X P - 302 M - R - A - 1 載せ替え
54	ガス導入管	一式	1 m ガス導入管
55	デジタルカメラ	1	
56	熱画像直視装置	2	シークサーマル
57	折り畳みカラーコーン	4	伸縮式三角コーン (ファイヤーレスキューイーエムエス)
58	携帯拡声器	1	載せ替え
59	ウエストバック	1	レスキューウエストバック グリーン (ファイヤーレスキューイーエムエス)
60	万能斧	1	載せ替え
61	発泡筒先	2	F N - 65 L X、F N - 65 M X (各 1)

内 訳 書

1 シャシ						
No.	項目	数量	単位	備考	単価	価格(税抜)
1	シャシ	1	台			
2 車体積装						
No.	項目	数量	単位	備考	単価	価格(税抜)
	積装費	1	式			
3 備えなければならぬもの						
(1) 取付品等						
No.	項目	数量	単位	備考	単価	価格(税抜)
1	ポンプ圧力計	2	個	電子式左右各1		標準積装
2	ポンプ圧力計	2	個	非常用 アナログ式バックライト付 100mm		標準積装
3	ポンプ連成計	2	個	電子式左右各1		標準積装
4	ポンプ連成計	2	個	非常用 アナログ式バックライト付 100mm		標準積装
5	エンジン回転計	1	個	シャシ固有		シャシに含む
6	エンジン油温計	1	個	シャシ固有		シャシに含む
7	赤色警告灯	1	式	WHELEN 4500Plus クリアレンズは別途協議		
8	電子サイレン	1	式			
9	照明灯	1	式	WHELEN PCH4-P		
10	後退警報器	1	個	音声付き		シャシに含む
11	標識灯	2	個			シャシに含む
小計						
(2) 付属品						
No.	項目	数量	単位	備考	単価	価格(税抜)
1	吸管	2	本	75mm×10m ソフト		
2	吸口ストレーナー	2	個	75mm用		
3	吸管ストレーナー	2	式	ストカゴセットR-3		
4	吸管塵よけ籠	2	式	ストカゴセットR-3		吸管ストレーナーに含む
5	吸管ローブ	2	式	ストカゴセットR-3		吸管ストレーナーに含む
6	吸管材木	2	式	合成ゴム製		
7	消火栓金具	2	個	呼称75メタネジ×町野式65mmメス		
8	消火栓閉閉金具	1	式	新型消火栓鍵：2本 スピンドルドライバー：1本 手かぎ：1組		
9	吸管スパナ	2	本	鋳鉄製		
10	管鉗50mm	2	本	P P-50A・E X S・S		
11	管鉗65mm	2	本	P P-60A・E X S・S		
12	管鉗ノズル	2	個	ダブコンプーストノズル管鉗取付モデル NV-65W・BT		
13	管鉗ノズル	2	個	ヴァリアブルノズル NV-65-BX		
14	ノズル	1	個	ボアテックノズル NV-50VX (呼び)		
15	ノズル	1	個	ダブコンプーストノズル NV-50W・BT P (呼び50)		
16	ノズル	1	個	セレクト式ガンタイプ管ぞう差込式 (TS-4028)		
17	放口媒介金具	2	個	ANS-65MC 50・65マルチスイベル		
18	放口媒介金具	2	個	AN-65MC 50・65マルチ		
19	400型発泡ノズル	2	個	低反動泡ノズル FNL-65・400/呼び65		
20	とび口	2	本	グラスファイバー柄 IAFCO 1.8m		
21	金てこ	1	本	800mm		
22	剣先スコップ	1	本	ステンレス柄		
23	車輪止め	4	個	合成ゴム製		
24	消火器	3	本	自動車用消火器10型		
25	ポンプ工具	1	個	冷却ストレーナー-開閉金具		
26	ホース65mm	10	本	65mm×20m 1.6MPa 指定文字		
27	照明器具	1	式	ヤマハEO54セット (投光器 (クロスバスター)、コントロールボックス、三脚、ケーブル30m袋付き)		
28	発電機	1	個	E F 900i S-R-YAMAHAインバーター発電機		
小計						
5 軽微な変更として備えることができるもの						
(1) 取付品等						
No.	項目	数量	単位	備考	単価	価格(税抜)
1	GPSナビゲーションシステム	1	個			シャシに含む
2	電動サイレン	1	式			赤色警告灯に含む
3	真空計	2	個	連成計に含む (リタード式)		標準積装
4	ポンプ回転計	2	個			標準積装
5	流量計	2	個			標準積装
6	積算流量計	2	個			標準積装
7	キャブチルド装置	1	式	電動油圧式 シャシ固有		シャシに含む
8	オイルパンヒーターコード	1	本	10mケーブル付き		シャシに含む
9	スタッドレスタイヤ	6	個	ホイール付き		シャシに含む
10	作業灯	2	個	WHELEN S44MB		
11	車外無線送話機取出口	2	個	左右各1		
12	放水銃	1	式	YONEクロスファイヤー450mm伸縮パイプ式 (マックスフォースノズル、モニター本体、固定フランジ付)		
13	反射材×1式	1	式	再帰性に富んだ反射材		積装費に含む
14	自衛噴霧装置	1	式	両側各4か所 (内1か所仕様変更)		
15	赤色点滅灯	2	個	WHELEN W10NSMBR		
16	赤色点滅灯	4	個	WHELEN M9ECR		
17	点滅灯・作業灯	2	個	WHELEN M9V2CR		
18	ハイルーフ	1	式	飛鳥車体 MZ-G		シャシに含む
19	キャブバック	1	式	飛鳥車体		シャシに含む
小計						
(2) 付属品						
No.	項目	数量	単位	備考	単価	価格(税抜)
1	タイヤチェーン	1	式			シャシに含む
2	分岐管	2	個	WB-65MC 50・65マルチ		
3	ホースブリッジ	2	組	CB-450W (2枚1組)		
4	ワイヤー	1	本	牽引用		
5	斧	1	式	Right Rescue レガシートタイプハリガン&アックス&マリードストラップセット		
6	ホースカバー	1	個			
7	スタンドパイプ	1	本	P S-65		
小計						
3 補助対象外						
(1) 取付品等						
No.	項目	数量	単位	備考	単価	価格(税抜)
1	バックアイカメラ	1	式	ルームミラー型		シャシに含む
2	消防無線電話装置	1	式			積装費に含む

3	車両両用端末装置	1	式	指定車両より移設		積装費に含む
4	インバーター	1	式	DC-AC (600W AC100Vコンセント)		
5	集中操作スイッチ	1	個	10連スイッチ		
6	路肩灯	1	式	左右フェンダー内		
7	車幅灯	4	個	左右車体後方上部・下部 黄色		
8	消防章	1	個	100mm以上		
9	ホース延長用資器材動力昇降装置	1	式	車両後部 電動油圧式		
10	サイドバイザー	1	式	ステンレス製		ジャンに含む
11	手動梯子積載装置	1	式			
12	空気呼吸器取付装置	4	個	クイックホルダー		
13	EITC車載装置	1	個	セットアップ含む		ジャンに含む
14	地図入れボックス	1	個	A3パンチング HRFWS-RIN-		ジャンに含む
15	シャッター庫内灯	1	式	シャッターレール埋込及び必要箇所LED		ジャンに含む
16	LEDステップランプ	1	式	HRFWS-REL-310120		ジャンに含む
17	アルミ銘板張り	1	式	HRFWS-REX-310110		ジャンに含む
18	パウシヤックル	2	個	HRFWS-REX-310210		ジャンに含む
19	中間パイプ	1	本	HRFWS-RIN-210310、HXFWS-RIN-7102XX		ジャンに含む
20	LED室内灯	1	個	HRFWS-REL-11031X		ジャンに含む
21	LEDフレキシブルマップランプ	1	個	HRFWS-REL-11053X		ジャンに含む
22	後部座席	1	式	背もたれカットシート前倒れ式 (HRFWS-RIN-140300)、シートクッションダンパー跳ね上げ (HRFWS-RIN-140925)、シートライザー左右扉 (HRFWS-RIN-140910)		ジャンに含む
23	ハンガーラック二股タイプ	8	個	HXFWS-RIN-6102XX		ジャンに含む
24	収納ボックス	1	個	HRFWS-RIN-410200		ジャンに含む
25	足元ボックス	1	個	HRFWS-RIN-410199		ジャンに含む
26	デジタル電流計/電圧計	1	式	HRFWS-REL-410140		ジャンに含む
27	GPS時計	1	個	HRFWS-REL-510155		ジャンに含む
28	LEDメインスイッチ	1	個	HXFWS-REL-210110		ジャンに含む
29	POT作動確認灯	1	個	HRFWS-REL-210113		ジャンに含む
30	S字フック	必要数				ジャンに含む
31	汎用マイク	1	式	大阪サイレン		
						小計
(2) 付属品						
No.	項目	数量	単位	備考	単価	価格(税抜)
1	中継用媒介金具	2	個	不意離脱金具式		
2	放水銃用管鉗	2	本	載せ替え		
3	変換媒介	1	個	載せ替え		
4	三連はしご	1	個	KHFL-CT87		
5	タイダウンベルト	4	個	載せ替え		
6	ブラスターケーブル	1	本			
7	車両ジャッキ	1	式			ジャンに含む
8	ホイールレンチ	1	個			ジャンに含む
9	耐熱服	3	式	倉本産業KA-2000 耐熱靴27cm:2足、28cm:1足		
10	ひしゃく大	1	個	載せ替え		
11	フロントバック	1	個	載せ替え		
12	プラスチック養生	1	個	載せ替え		
13	ロープバック	2	個	BE-030		
14	補水ホース	2	本	65mm×5m 載せ替え		
15	水幕ホース	1	本	ホース:2本、媒介:2個、水幕用固定金具:4個 載せ替え		
16	水圧シャッター替口(17mm)	1	個	載せ替え		
17	替口(21mm)	1	個	載せ替え		
18	テープスリング120	2	個	オレンジ		
19	テープスリング60	1	個	赤		
20	ハンマー	1	本	TS-6047		
21	ボルトクリッパー	1	個	載せ替え		
22	塵取り	1	個	載せ替え		
23	竹ぼうき	1	本	載せ替え		
24	背負い式散水装置	1	個	載せ替え		
25	手ぼうき	1	個	載せ替え		
26	ホース延長資器材(ホースカー)	1	台	ヤマハクロスコイカー		
27	ホースバンド	6	個			
28	燃料携行缶	1	個	載せ替え		
29	サルベージシート	2	枚	載せ替え		
30	防水シート	4	枚	載せ替え		
31	検知キット	1	式	北川式測定セットP-50 載せ替え		
32	工具セット	1	式	載せ替え		
33	メジャー	1	個	50m 載せ替え		
34	原調画板	1	個	載せ替え		
35	連送ホース	2	本	65mm×10m 載せ替え		
36	バックボード	1	式	載せ替え		
37	プライバシーシート	2	枚	クイックシールド・NEO		
38	フルハーネス	2	式	トップコントロール C081CA00 ファルコン C0838DA デルタリングP11 リングオープン P28		
39	ホースバック	2	個	ホースバックIIW50-65		
40	ひしゃく小	1	個			
41	ひしゃく大	1	個			
42	停止表示板	1	個			
43	外傷バック	1	個	載せ替え		
44	布担架	1	個	載せ替え		
45	酸素バック	1	個	載せ替え		
46	携帯警報器	5	個			
47	標旗	1	本	載せ替え		
48	スターライト信号灯	2	本			ジャンに含む
49	ライフジャケット	5	個	高階 BSR-905		
50	ブラスターライト	3	本	BR-AG10M		
51	430簡易縛帯	1	個			
52	双眼鏡	1	個	載せ替え		
53	ガス測定器	1	個	載せ替え		
54	ガス導入管	1	本	1mガス導入管		
55	デジタルカメラ	1	個			
56	熱画像装置	2	個	シークサーマル		
57	折り畳みカラーコーン	4	個	伸縮式三角コーン(ファイヤーレスキューイーエムエス)		
58	携帯拡声器	1	個	載せ替え		
59	ウエストバック	1	個	レスキューウエストバック グリーン(ファイヤーレスキューイーエムエス)		
60	万能斧	1	本	載せ替え		
61	発砲筒先	2	個	FN-65LX、FN-65MX(各1)		
						小計
						計
						消費税
						総計

# 海老名市役所環境方針

## 基本理念

海老名市は、昔から自然豊かな田園地帯として栄えてきたまちです。しかし、首都近郊という立地条件に恵まれ都市化が進んできた結果、産業の集積や利便性の高い生活の営みが、良好な生活・自然環境に大きな負荷を与える要因にもなっています。

海老名市役所は、未来の世代に住みやすい「ふるさと」を手渡すために、市民の身近な環境問題から地球的規模につながる環境問題に取り組み、継続的な改善及び汚染の予防に努め、人と自然が共生し持続的発展が可能なまちづくりを目指します。

## 基本方針

この基本理念に基づき、市が行う各種事務事業の執行について、関連する環境法規制、協定及びその他の同意事項を順守し、環境負荷を最小限に抑えるとともに、環境に有益な影響を及ぼす事業を積極的に推進します。

また、市民等の利害関係者の環境問題に関わる要望、意見のうち可能なものを市の環境活動に反映させるほか、国及び県その他の組織等から市に伝えられる環境関連情報、市が収集・分析した情報及び市が環境関連政策として発信すべき情報を、必要に応じて市民をはじめとする利害関係者に伝えると同時に必要な啓発に努め、環境問題に対する地域全体の意識向上を目指します。

この環境方針は、全職員に周知するとともに、広く一般に公表します。

2014年6月19日

海老名市長 内野 優

## ●契約事業に関する環境要素

海老名市の契約事業における環境要素は以下の環境要素一覧表のとおりである。

これらの環境要素は、生活環境並びに地球環境の保全及び向上を図るためにかかすことのできないものである。

### 環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境	(1) 緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑
		②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2) 水 辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(3) 動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
2 地球環境	(1) 資 源	①石油類・金属等の鉱物資源
		②木材等の森林資源
	(2) 大 気	①自動車の排気ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気汚染
		②公園、屋外体育施設などの砂塵による迷惑を考慮すべき地域的な大気汚染
		③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3) 水 質	①庁舎、公園、屋外体育施設、駐車場などの施設からの排水の影響を受ける水系
		②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系
		③契約業務実施により影響を受ける地下水
	(4) 土 壤	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面
	(5) 廃棄物	①一般廃棄物
②産業廃棄物		
③リサイクルできる排出物		

環境要素一覧表

( 2 / 2 )

大分類	中分類	小分類
3 生活環境	(1) 騒音	①業務実施に伴う作業機械の稼動による騒音
		②業務実施に伴う車両走行による騒音
		③公園、競技場等屋外体育施設での騒音
		④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2) 振動	①業務実施に伴う作業機械の稼動による振動
		②業務実施に伴う車両走行による振動
		③施設の空調機等電気・機械設備の振動
	(3) 悪臭	施設等から排出される廃棄物等の悪臭
	(4) 人の健康	①公園、競技場等屋外体育施設での健康増進、体力の向上
		②薬剤等の使用による人への影響
		③事業活動によって生じる人への影響
	(5) 地域生活環境	公園、競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境

● 「計画・実施」時に配慮する事項

1 7. 物品購入

	配 慮 す る 事 項	環 境 要 素
1	購入物品の納品に伴い排出される廃棄物は、適正に処理する。	2-(5)-①・③
2	購入物品納品時の運搬車両の台数制限に努める。	2-(1)-① 2-(2)-① 3-(1)-② 3-(2)-②
3	購入する物品については、海老名市グリーン購入基本方針に沿って商品の選定に努める。	1-(1)-① 1-(2)・(3) 2-(1)-①・② 2-(2)-①
4	物品の納品等に使用する車両は、環境に配慮した車両の使用に努める。 (例：電気自動車、ハイブリッドカー、低排出ガス車等の使用)	2-(1)-① 2-(2)-① 3-(1)-② 3-(2)-②
5	購入物品の納品回数を少なくするようにする。	1-(1)-① 2-(1)-①・② 2-(2)-①
6	製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮することに努める。	1-(1)-① 2-(1)-② 2-(5)-①

令和 年 月 日

## 契約保証金の手続きに関する申出書

海老名市長 殿

住 所

商号又は名称

代表者名

次の契約案件につきまして、本契約日までに下記のとおり契約保証金の手続きを行うことを申出いたします。

### 記

- 1 契約件名 化学消防ポンプ自動車Ⅱ型購入
- 2 仮契約日 令和 7年 5月20日
- 3 本契約日 海老名市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年4月1日条例第13号）第3条に基づく議会の議決を得た日
- 4 契約保証金の手続き（以下の中から選択）
  - 現金納付
  - 銀行等金融機関による保証（契約規則第41条第3項第1号の保証額）
  - 保証事業会社による契約保証（契約規則第41条第3項第2号の保証額）
  - 履行保証保険（契約規則第42条第1項第1号）
  - 実績（契約規則第42条第1項第2号）
  - その他

事務担当者の氏名及び連絡先

氏名

連絡先（TEL）